

エコロジカルな人間と自然の共生の証を資源に

シンポジウム

「周防の生命圏」から 日本の里海を考える

●会場:山口県上関町 祝島公民館(入場無料)

●開催日:平成20年7月13日(日)11:00~15:00



シンポジウムでは、人と生き物が豊かに共生する第一級の地域「周防の生命圏」について学び、この地域を人の手がいった自然として、いかに守り、そして活用して行けるか、人と自然と文化の調和と利用の可能性と将来について考えます。



生命の共生と循環

里海は守るものではない
里海は人と自然が共に生きる「地域」である。

「周防の生命圏」 という考え

菊池 亜希良
広島大学
国際協力研究科

生物相の豊かな 周防地域の生命圏

飯田 知彦
九州大学大学院
高島 美登里
長島の自然を守る会

人と自然が共生 する「地域共生型」 の離島農業

氏本 長一
祝島未来航海プロジェクト

「里海」という言葉 への警笛

向井 宏
海の生き物を守る会

海の未利用資源、 そして「里海」の 保全と活用方法

新井 章吾
海藻研究所

●全体スケジュール

- 7/12 (土) ・14:00 環瀬戸内海会議総会(参加することができます)
・16:00~18:00 エクスカーション 漁船で祝島一周、棚田での豚の放牧も観察
・18:30~交流会(祝島島民の会事務所)
7/13 (日) ・11:00~15:00 シンポジウム(祝島公民館)
7/14 (月) ・自由エクスカーション 祝島・長島周辺の海域・海岸の観察

主催 日本生態学会中国四国地区会・環瀬戸内海会議

共催 祝島未来航海プロジェクト(7/12 エクスカーション担当)

後援 瀬戸内海環境会議、長島の自然を守る会、海藻研究所、高木仁三郎市民科学基金・広島大学
環境共生経済プロジェクト研究センター・・・[準備期間中に増えます].

連絡先

シンポジウム企画責任者 菊池 亜希良
(生態学会中国四国地区会)
電話 090-8358-9233, Fax.082-424-6930
E-mail kikuchi@hiroshima-u.ac.jp
準備責任者 高島美登里(環瀬戸内海会議)
〒747-0063 防府市下右田 387-14
電話 090-8995-8799, Fax.0835-23-1892
E-mail midori@crocus.ocn.ne.jp

シンポジウムの趣旨

瀬戸内海は、人に身近な海、豊饒の海と語り伝えられ、古来歴史豊かに、物・人・知・文化を運ぶ日本の大動脈でした。その静かな海面、点在する多くの島々、白砂青松の浜、段々畑など自然と人間の営みが一体となった独特の多島景観は明治維新後に往来する外国人にも絶賛され、我が国最初の国立公園にも指定されました。しかし、引き続く近代化の波間で、その自然の多くは開発や水質の汚濁によって現在までに大きく姿を変えつつあります。その変貌の中にあつて、周防灘には奇跡的に奇麗な海が、そして日本の里海の原風景がまとまった面積で残されています。

今回、私たちが開催するシンポジウムでは、人と生き物が豊かに共生する第1級の地域「周防の生命圏」について学び、「日本の里海」として共有すべき遺産を新たに見直し、この地域の人と自然と文化の調和と利用の可能性、将来について考えるきっかけにしたいと思います。

なお、このシンポジウムの準備は手弁当で行われます。ささやかなカンパをお待ちしております。また、「周防の生命圏」を生かす企画は、地域の理解と応援が得られる場合には継続します。ぜひ後援者・団体に御登録ください。

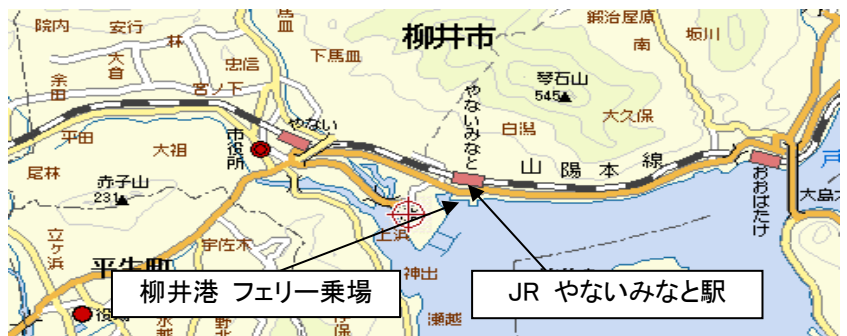
■ 祝島までのアクセスと宿泊

《7月12日(土)から祝島宿泊の場合》

- ・チャーター船 柳井港 12:00 の(室津 12:30 頃)
- ・定期船 15:30 がご利用できます。
- ・宿泊 民宿または祝島島民の会事務所があります。

《7月13日(日)当日参加の場合》

- 9:30 柳井港 集合
- JR 山陽線柳井港駅より徒歩5分、祝島 10:40 着
- フェリー代 1530 円。祝島公民館へは徒歩3分です。



☆☆ 交通アクセス(公共交通機関利用の場合) ☆☆

- 広島・岡山・神戸方面から JR 山陽線・広島駅 8:00 発 柳井港駅 9:13 着
- 山口・小倉・大分方面から JR 山陽線・新山口駅 7:49 発 柳井港駅 9:09 着
- 四国・松山方面から 防予汽船・三津浜港 5:30 発 柳井港 8:00 着
- 自家用車でお越しの方は、室津港に駐車して乗船(着船:10:00 頃)して下さい。

《7月14日(月)自由エクスカーション(観察会)》

上関地域の海と海岸を船で巡り観察会を行います。海底湧水がつくる「澄水生態系」スギモクの群落、運が良ければスナメリ、カンムリウミスズメに出会えます。奇跡的に残された日本の里海の原風景、「周防の海」の生命圏の豊かさを自分の目で確かめるチャンスです。

切り取り

シンポジウム(参加, 後援者・後援団体登録)申込書(○をして下さい)

6月28(土)必着で、シンポジウムの準備責任者(高島)の連絡先までお申し込み下さい。

fax・Eメール・郵送いづれでも結構です。諸費用は当日申し受けさせていただきます

柳井-祝島間 船のチャーター 7/12 12:00- 柳井港発	環瀬戸内海会議 総会への出席 7/12 14:00- 祝島公民館	祝島を船で1周 エクスカーション 7/12 16:00- 祝島公民館発	交流会費 7/12 18:30- 祝島島民の会 事務所	宿泊費		祝島・長島 周辺海域 自由 エクスカーション 7/14 祝島港発	合計
				祝島島民の 会事務所 1泊	民宿 1泊(朝食付)		
3,000 円	1,000 円	1,000 円	3,000 円	1,500 円	4,000 円	2,000 円	
							円

参加者お名前 _____ 団体名 _____ カンパ(_____ 円)
 ご住所 〒 _____ 団体参加登録の場合 ある場合。スタッフまでお寄せ下さい。
 TEL _____ FAX _____ ※などでも歓迎です。
 Eメール _____ @ _____

※ 祝島未来航海プロジェクトからのお願い：各地のとおきの品・名酒など交流会にお持ちください。

ご来場の交通手段 (JR 等公共交通 自家用車) どちらかに○を

注:自家用車でお越しの方は、室津港(柳井発 30 分後)にて乗船下さい。

柳井港では駐車場の台数が限られており、駐車できない場合があります

—— 申し込み・お問い合わせ ——
 高島美登里(環瀬戸内海会議)
 〒747-0063 防府市下右田 387-14
 電話 090-8995-8799
 FAX. 0835-23-1892
 E-mail midori@crocus.ocn.ne.jp